

新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止に関する情報について

予防接種について

新型コロナウイルス ワクチン 2回接種での有効性は…？

日本で承認されているファイザー、モデルナ、アストラゼネカのワクチンは、いずれも一定の間隔をあけて2回接種することになっています。2回接種したあとで従来の新型コロナウイルスに対して発症を予防する効果は、ファイザーとモデルナでは90%を超え、アストラゼネカもおよそ70%と確認されています。

2021年7月にイギリスの保健当局が国際的な医学雑誌に発表した論文では、発症を予防する効果は「アルファ株」に対してはファイザーのワクチンで93.7%、アストラゼネカのワクチンで74.5%、「デルタ株」に対してはファイザーのワクチンで88.0%、アストラゼネカのワクチンで67.0%だったとしています。

※9月下旬から集団接種を受けていない方を対象に大間病院で実施していますが、1回目接種の機会は**11月12日(金)が最終**となります(2回目は12月3日)。接種を希望される方は、早めに役場福祉健康課までご連絡ください。

新型コロナウイルス ワクチン 3回目の接種は…？

ワクチンを2回接種した場合でも、接種後の時間の経過とともにワクチンの有効性や免疫原性が低下することが報告されています。このことから、厚生労働省は2回目の接種から8か月以上の間隔をあけて3回目の追加接種を行うという方針を発表しました。

3回目の接種については、実施体制が整い次第、2回目を接種された方にのみご案内する予定です。

インフルエンザ予防接種について

11月に納入されるワクチンの本数が例年の7～8割であることから、今年度は予防接種法に基づく定期接種の対象である65歳以上の方と中学生以下の方に限り、大間病院で11月1日(月)から実施します。

11月から12月中旬にはワクチンが継続的に供給される見込みとことから、65歳未満の方については、12月1日(水)からの開始とします。

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえインフルエンザワクチンも早めに接種したいという方も多いことと思いますが、ご協力のほどよろしくお願いします。

また、両方のワクチンを接種する場合、新型コロナウイルスワクチン接種の前後2週間は、ほかのワクチンは接種できませんので、10・11月に新型コロナウイルスワクチン予防接種を受けた方はご注意ください。